

住みたいまち大刀洗 住んでよかった大刀洗町



- 平成24年度事業報告
- 災害ボランティア講座報告
「備えあれば憂いなし～あなたの地域の備えて?～」
- 笑顔キラキラほいくえんフォトギャラリー
- 第3者委員会報告
ポラ連のほっこり井戸端サロン（9/28）
～私がボランティアを始めた理由～
社協トピックス ひる場



6/13 大堰保育園・本郷保育園のじゃがいも掘り
「じゃがいも、たくさんとれたよ。晩ごはんはカレーかな～?」

■ 社会福祉法人 大刀洗町社会福祉協議会

〒830-1201 大刀洗町大字富多819
TEL/0942-77-4877 Fax/0942-77-6220

■ 大堰保育園

〒830-1205
大刀洗町大字守部465-5
TEL/0942-77-1402

■ 本郷保育園

〒830-1211
大刀洗町大字本郷899-1
TEL/0942-77-2220

URL <http://www.tachi-shakyo.or.jp>



平成24年度 大刀洗町社会福祉協議会事業報告

1. 事業全体に対する総括

平成24年度は、大刀洗町社会福祉協議会が法人化して20年目を迎える節目の年でした。法人化した平成5年から20年経過した現在では、公的な制度やサービスだけではなく、公的な制度やサービスだけでは解決できない様々な課題が日々表面化されることにより、住民相互の支えあいが必要となってきました。

今後も地域のニーズを知り、地域や住民の皆様が何を必要とし、何をしたいかねばならないのを地域の皆様と一緒に考えながら、新たな取り組みに挑戦していきたいと思えます。

2. 重点目標

(1) 要援護者見守りネットワーク

事業の推進

各行政区の小地域協議会の組織化も進み、定期的な情報交換と見守り活動が定着しつつあります。『いのちのバトン』利用者も増えており、要援護者にとっての安心感と緊急時の対応に活用されています。

ます。

また、『災害時要援護者支援制度』の実施に伴い、『要援護者支援台帳』を民生委員児童委員協議会の協力のもと整備し、日常的な見守りと災害時の支援体制を整える準備ができました。

(2) ボランティア活動の推進

今年度は、ボランティア活動へのきっかけづくりとして「ボランティア入門講座」を開催し、5名の方のボランティア活動に繋がりました。今後もボランティア連絡協議会との連携を深め、広くボランティアについて発信する必要があります。

(3) 保育の質の向上

平成23年度からの継続事業として行われていた本郷保育園平家建園舎の改築も10月末をもって完了し、本郷保育園については新たな環境で保育をスタートすることができました。

また、子どもの健やかな育ちのために、特別支援教育総合推進事業が大刀洗町教育委員会で立ち上げられたことにより、巡回相談を経て小学校との連携をとることが

可能となり、就学までの教育支援・学力向上の推進が今まで以上に成果を上げました。

法人運営部門

(1) 社会福祉協議会の運営

- 法人化20周年記念式典、記念講演の開催
- 法人化20周年記念誌の発行
- 九州北部豪雨災害支援
- (つきは市・日田市社協)

地域福祉活動推進部門

(2) 住民主体の地域福祉活動の推進

- 要援護者見守りネットワーク事業の組織化
- ・要援護者見守りネットワーク協議会幹事会・全体会の実施
- ・小地域協議会の支援
- ・『いのちのバトン』事業の推進
- 地域福祉講座の開催
- 「こころの声によりそうために」
- ↳不登校・引きこもりから考える地域

講師：NPO法人青少年教育

支援センター

理事長 古賀勝彦 氏

- ミニデイサービス事業の育成と支援

延べ実施回数：262回
延べ利用者数：3,678名

延べボランティア数：2,824名
合計：6,502名

- 福祉協力員研修会の開催

(3) 高齢者福祉の推進事業

- 男性の料理教室への支援
- 独居老人への味噌配布事業への援助

- 福祉バス運行事業

- ・老人クラブ温泉送迎

運行回数：198回

延べ利用者数：4,660名

・その他(ミニデイ等)

運行回数：63回

延べ利用者数：2,439名

- 老人クラブの育成と支援

(4) 障がい者福祉の推進事業

- 凸凹の会(点訳の会)

- 地域自立支援協議会への参加

- 手話通訳者派遣事業

派遣回数：54回

(5) 子育て支援の推進

- 子育て支援センターへの支援

- 子ども見守り隊への支援

- ・子ども見守り隊全体研修会

(6) 母子・寡婦・父子福祉の推進

- 母子寡婦福祉会の援助

(7) ボランティア活動の推進

- ボランティアセンターの運営

- ボランティア連絡協議会への連携

・ほっこり井戸端サロンの開催
(全4回)

○ボランティア入門・養成講座の開催

・手話入門教室

・災害ボランティア講座

・朗読研修会

・ボランティア入門講座

「こころ豊かに暮らす

よか余暇講座」

講師・九州大学大学院

准教授 加留部貴行 氏

○ボランティア情報誌「ちよぼら」の発行 計3回

(8) 福祉教育の推進

○福祉協力校事業

(9) 共同募金・歳末たすけあい運動への協力

(10) 当事者組織への支援

○とまり木の会(家族介護者の会)

○語ろう会(障がい者当事者及び家族の会)

○子と親・花花の会

○ぼけっと(障がい児・者親の会)

他

(11) 心配ごと相談事業

○各種相談事業

相談件数・11件

○無料弁護士相談

相談件数・14件

(12) 広報と調査活動

○社協だよりの発行・計6回

○ホームページの運営

福祉サービス利用支援部門

(13) 日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)

○日常生活自立支援事業

(14) 要援護世帯等の福祉活動の推進

○生活福祉資金の貸付及び償還の指導

指導

在宅福祉サービス部門

(15) 居宅介護支援事業

○ホームヘルプ事業(障害者自立支援) 利用者5名

○生活管理指導員派遣事業

利用者7名

(16) 各種在宅介護サービス事業

○福祉有償運送事業

利用回数・166回

利用者・6名

児童福祉施設運営部門

(17) 保育園運営事業

○大堰・本郷保育園の運営

・本郷保育園平屋建て園舎の改築工事の実施

○病後児保育事業の実施

開所日数・107日

利用者数・140名



平成24年度 大刀洗町社会福祉協議会

収支決算統括表 (平成25年度への繰越金)

(単位：円)

会計名	経理区分名	期首金額 (前年度繰越金)	収入済額	決算額	繰越金
一般 会 計	1. 法人運営経理区分	4,073,079	29,364,591	30,334,030	3,103,640
	2. 地域福祉活動事業経理区分	770,018	1,792,000	1,379,477	1,182,541
	3. 共同募金配分金事業経理区分	36,912	4,250,200	4,214,905	72,207
	4. 居宅介護等事業経理区分	471,148	2,082,039	1,936,174	617,013
	5. ボランティアセンター経理区分	28,820	1,023,000	973,927	77,893
	6. 生活福祉資金貸付事業経理区分	1,160	318,394	318,394	1,160
	7. 心配ごと相談事業経理区分	45,738	400,000	354,440	91,298
	8. 福祉バス運行事業経理区分	275	4,592,750	3,733,784	859,241
	9. 福祉有償運送事業経理区分	219,695	137,360	159,602	197,453
	10. 大堰保育園経理区分	10,208,558	91,530,118	85,332,772	16,405,904
	11. 本郷保育園経理区分	23,823,678	193,619,802	197,587,070	19,856,410
	12. 病後児保育事業経理区分	0	4,452,000	4,452,000	0
合計		39,679,081	333,562,254	330,776,575	42,464,760

災害ボランティア講座報告

備えあれば憂いなし あなたの地域の備えって？

うきは市に学ぶ災害対策

今回の災害ボランティア講座では、九州北部豪雨災害を経験されたうきは市より、災害時の地域の実情と日頃の取り組みについてお話を聴き、私たちの地域の備えについて考えました。



講師：うきは市社会福祉協議会
地域福祉活動コーディネーター
國武竜一氏

期日：6月26日(水)
参加者：181名

■そのとき、 うきは市では・・・

昨年の九州北部豪雨では家屋の全壊・半壊・流出をはじめ床上床下浸水が発生、特に山間部ではいたるところで道路が寸断され、被害状況の把握にも困難をきわめたとのことでした。

《うきは市被災メモ》

- ・人的被害
死者…1名、重傷者…1名
- ・住宅被害
全壊…7棟、
半壊・一部損壊…4棟、
床上浸水…66棟、
床下浸水…370棟
- ・道路損壊…119ヶ所
橋梁流出…2ヶ所、
損壊…6ヶ所

(うきは市社会福祉協議会資料より)

■うきは市の被災が 問いかける“備え”

うきは市内各所で発生したさまざまな事例から災害対策の課題を伺いました。

【情報】各家庭の防災無線に災害時の想定がされておらず、被災情報が届かなかった

【避難所】指定避難所が浸水し避難場所を変更した

【安否確認】固定電話もケータイもつながらず、住民情報を持った区長さんたちが地域の対応に追われ安否確認が困難だった

一方で、災害ボランティアセンターを立ち上げ、外からのボランティアを受け入れましたが、地元の平地の地域の人たちが山間部の復旧に協力し、地域間の支え合いが被災した人にとって気心の知れた支援になったことなど、今後の災害対策に有効な気づきもあったとのことでした。

■大刀洗町では



災害時

平常時の大堰小学校前

昨年の豪雨災害において大刀洗町では、西原地区など大堰校区の広い地域で水害が発生し、床上浸水2件、床下浸水26件、相当額の農産物の被害が出ました。大刀洗



災害時



平常時の江戸橋より

町には山間部はありませんが、昨年のような水害を想定した備えが必要です。

高齢者や障がい者等の要援護者といわれる人を含む住民への情報の伝達や避難、避難所の見直しや安否の確認について、それぞれの地域で情報を共有し、「うちの地域ではこうしよう」という話し合いを持つことが備えの第1歩。日ごろから声かけをして、支える側と支えられる側双方の関係づくりをしておくことが大切のようです。

■ 備えあれば憂いなし

～ 支えあう町に～

昨年の九州北部豪雨を振り返って思うことは、大刀洗町でも浸水しやすい地域とそうでない地域があって、やはり災害に対しての意



識の差が生じているようです。しかし、今回のように被災地域の実情を振り返ることで、無事だった地域の方たちも自分たちにできることはないかを考えるきっかけとなったようです。被災地域となってもそうでなくても、お互いに助け合われる町になりたいものです。

この講座を通して、それぞれの地域の違いの中で、個人の備え、地域の備え、町民相互の備えについて、具体的に話し合いが持たれ支え合う町になるよう考えたいものです。

第三者委員会における苦情解決結果の報告

社会福祉協議会では、利用者からの苦情に適切に対応する体制を整え苦情解決に努めています。平成24年下半年の苦情受付について7月10日（水）の第三者委員会において、各事業所の苦情受付責任者と第三者委員で協議した結果、「要望・相談」もしくは「自己対応」が数件ありましたが苦情受付までには至らなかったことを報告します。

なお、苦情の受付は面接・電話・書面などにより苦情受付担当者が随時受け付けます。また、第三者委員に直接苦情を申し出ることもできます。

苦情解決責任者	村山真知子（社会福祉協議会 事務局長）	Tel77-4877
	長野 美子（大堰保育園園長）	Tel77-1402
	弥永 敏枝（本郷保育園園長）	Tel77-2220
苦情受付担当	池松 昌亀（社会福祉協議会福祉活動専門員）	Tel77-4877
	松熊 美紀（大堰保育園 主任保育士）	Tel77-1402
	野田ひとみ（本郷保育園 主任保育士）	Tel77-2220
第三者委員	平城 悦子（社会福祉協議会 監事）	Tel77-0158
	林 安重（社会福祉協議会 評議員）	Tel77-1044
	平田真裕美（主任児童委員）	Tel77-2635

（任期：平成 25 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

笑顔キラキラ ほいくえんフォトギャラリー

夏、まっ盛り！子どもたちもグングン成長しています



ポピー見学
おにいちゃんおねえちゃんたちと手をつないで
ぽピーをみにいったよ!! ピース!!



畑
おおきな〜れ!!



誕生会
みんなで「♪カメハメハ」をおどったよ!!



床島ミニデイ
おじいちゃんおばあちゃんたちとたこ焼き
作ったり、肩たたきをしたり
みんなで楽しみました。



小学校の運動会
「♪アンダーザ・シー」をおどったよ!
たくさん拍手をもらいました。

大堰保育園



大きいじゃがいもがごろごろ!



シャベルをつかって一生懸命ほりました!



みんな大きいじゃがいもを
見て大喜び!!

本郷保育園



みんなで収穫したじゃがいもは、
うめ組がフライドポテトを作りました!!



園の畑も夏野菜がたくさん!!

園児の様子は社協ホームページからもご覧になれます♪

大刀洗町社協 保育園ブログ

検索

7/27(土) ボランティア連絡協議会の ほっこり井戸端サロン

お茶を飲みながら、町内のいろいろな人から話を聴く“ほっこり”とした雰囲気のカフェ。どなたでもお気軽にご参加ください♪(無料)

【時間】 午後1時30分～

【場所】 ぬくもりの館
(役場東側)



テーマ

- 元気を町の端っこから
- ・大刀洗町の端っこ、下高橋の高齢者がお元気です、そのワケは…
- ゲスト：堀内武美さん(下高橋)

災害ボランティア講座にはたくさんの方において頂きありがとうございます。改めて「地域力」の重要性を実感しました。

さて、〇〇力という言葉が流行っています。鈍感力、老人力などなど。“力”をつけると何でも良い言葉に聞こえます。最近では、女子の力で「女子力」という言葉も出てきて、女性を仕分ける言葉の1つになっているみたいです。奇麗な格好をして、料理が出て



来て、気が利いて、日本の場合、どちらかというと男性に認めてもらうために身につけるといふ意味合いが強いようですが、イギリスでは、女子力(ガールズパワー)と言えば、男性や他人に媚びず、自立した生き方を貫く女性を表す言葉らしいです。言葉は同じなのに、文化が違うだけで意味がこんなに違うんですね。女性らしさをあえて身につけてるって不思議なことだなあと思いますが、今の女性は女性らしくないんでしょうか。私も気をつけなくっちゃ。(囃)